

## 令和 3 年度 地域を支える調査・設計業検討会議「危機管理分科会」検討議題

### 1. 検討の背景と取組の目的

近年では、著しい気候変動により、想定を超える気象災害が各地で頻発し、今後もこの傾向が続くと予想されている。こうした時代の災害に対応するためには、気候変動リスクを踏まえた抜本的な防災・減災対策が必要となっている。

また、前回の第 35 回全体会議（令和 3 年 3 月 18 日）において、委託団体側から提案された議題（団体資料）によると、令和元年東日本台風災害時の課題・対応と、それを踏まえた新たな入札制度への要望等の事項が挙げられている。

このため、本分科会は、今後の「大規模災害発生時における調査・設計業の対応のあり方」や、災害対応を踏まえた「新たな入札制度」についての検討を行い、発注者と受注者の更なる連携強化を目的に取り組むものとする。

### 2. 今後取り組むべき事項

- (1) 分科会の運営について
- (2) 令和元年台風 19 号災害の課題に対する対応についての検討
- (3) 委託業務において地域貢献度を評価する総合評価落札方式の新設についての検討
- (4) その他

### 3. 取り組みの現状と進め方

これまで、長野県と災害協定 4 団体では、「令和元年東日本台風災害の振り返りに係る意見交換会」で、災害協定発動時の課題整理と検討及び団体側から県への要望についても実施してきた。

本分科会は、この令和元年東日本台風災害の振り返りに係る意見交換会から議題を引継ぎ、上記 2 に記載する事項について検討するものとする。

## 令和3年度 地域を支える調査・設計業 検討会議

## 技術・経営環境分科会における検討テーマについて

## 1. 経過

令和3年3月18日に開催された第35回全体会議において、『経営環境分科会』及び『品質確保分科会』が統合され、最新技術の情報共有や調査、またそれを踏まえて対応が必要となる「担い手確保・育成」や「働き方改革」を中心とする『技術・経営環境分科会』が新設された。

令和3年7月29日に初めての分科会を開催し、今後重点的に検討すべきテーマを整理した。

## 2 重点的に取り組む事項（案）

人材の確保と育成	<ul style="list-style-type: none"><li>・若手技術者の確保と定着</li><li>・若手技術者が評価される仕組みづくり</li><li>・技術力を向上させ、評価する入札方式</li><li>・若者にとって魅力ある業界となるための取組 (業界のことを知られていない)</li></ul>
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"><li>・就労環境の改善</li><li>・ウイークリースタンス</li></ul>
最新技術への取組	<ul style="list-style-type: none"><li>・BIM/CIMの導入に伴う体制整備</li><li>・最新技術の導入を促す仕組みづくり</li></ul>

※その他、構成員へのアンケートにより課題の洗い出しを行い、再編・拡充予定